性教育週間　　（2月3日（月）～2月7日（金））

本校では、系統的、継続的な性教育の実施を図るため、性教育週間を設けて、各学年の実態に応じ実施しています。

1　妻沼東中学校の性教育の目的

（1）性に対する正しい知識を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、適切な行動がとれるようにする。

（2）自己の存在に価値や自信を持ち、夢や希望を持って生きていく意欲をもてるようにする。

2　実施内容

学年	題　材　名	内　　容
1	① 性教育講演会「思春期を迎える皆さんへ　～命の現場から～」（講師:中島桂子助産師） ② わたしの存在、そしてみんなの存在 ③ いのちのバトンを受けついで	**《過去を見つめる》** 生命誕生について科学的に理解し、周囲の愛情や関わりを再確認する。 自己肯定感を高め、自他の人格と命を尊重し合い、豊かな人間関係を築く心情と態度を育てる。 直面していく性の問題に対し、望ましい意思決定や行動選択できる能力や態度を育てる。
2	① 夢や希望の実現のために ～軽はずみな行動が…～ ② 中学生としての望ましい男女の関係を考えよう	**《現在を見つめる》** 異性に対する興味関心は個人差や男女差があることを理解させ、互いに相手を理解し合い、マナーやルールを守って中学生らしい関わりができる態度を考えさせる。
3	①　命への責任を考えよう	**《未来を見つめる》** 中高生の人工妊娠中絶の実態や性感染症の現状を知り、男女の人間関係のあり方を考え、懸命な意志決定や、行動選択ができる能力や態度を育てる。 自分の将来の夢や希望に向かって生き生きと生きていく態度を養う。

2年3組の授業　「中学生としての望ましい男女の関係を考えよう」（指導者:井上修介教諭）



